

概要

ロードプラスは既設道路の路肩に設置することで、最大1.75mの車道拡幅が短期間に行える張出し式車道拡幅工法です。

特長

山側および谷側環境への影響低減

張出構造のため、山側地山の掘削が不要で、河川・水路などの谷側への影響を極力低減できます。

早期交通開放

プレキャスト製品を使用することで、仮設工事が低減できるほか、工期の短縮が図れます。

コスト低減が可能

既存擁壁の天端の一部を撤去してブロックを設置するため、擁壁の再構築が不要となり、コスト低減に繋がります。

車両用防護柵に対応

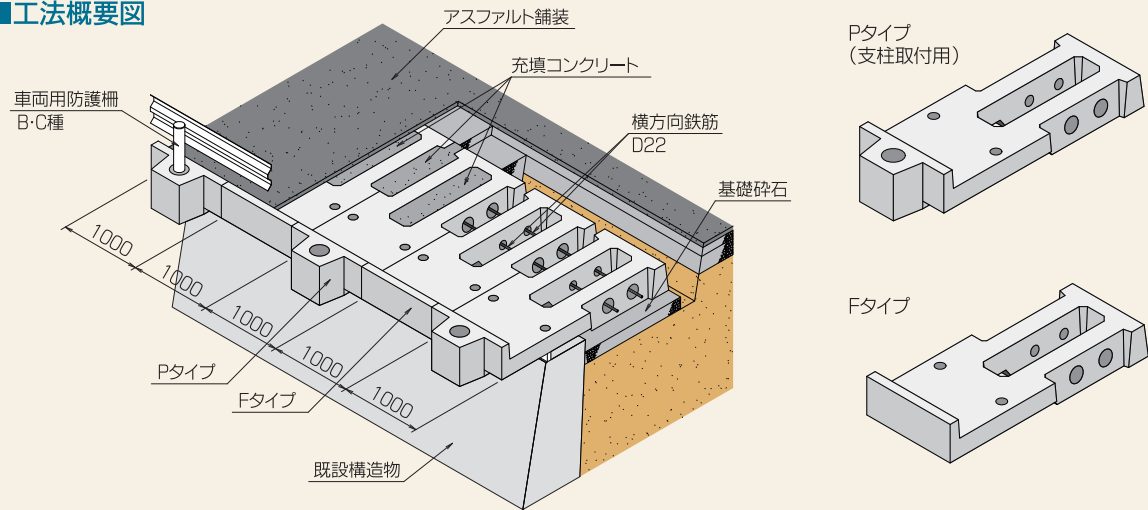
車両用防護柵(B種・C種)に対応しており、支柱取付用Pタイプの設置スパンにより、車両用と歩道用のどちらの防護柵にも対応できます。

地域特性に応じた道路拡幅

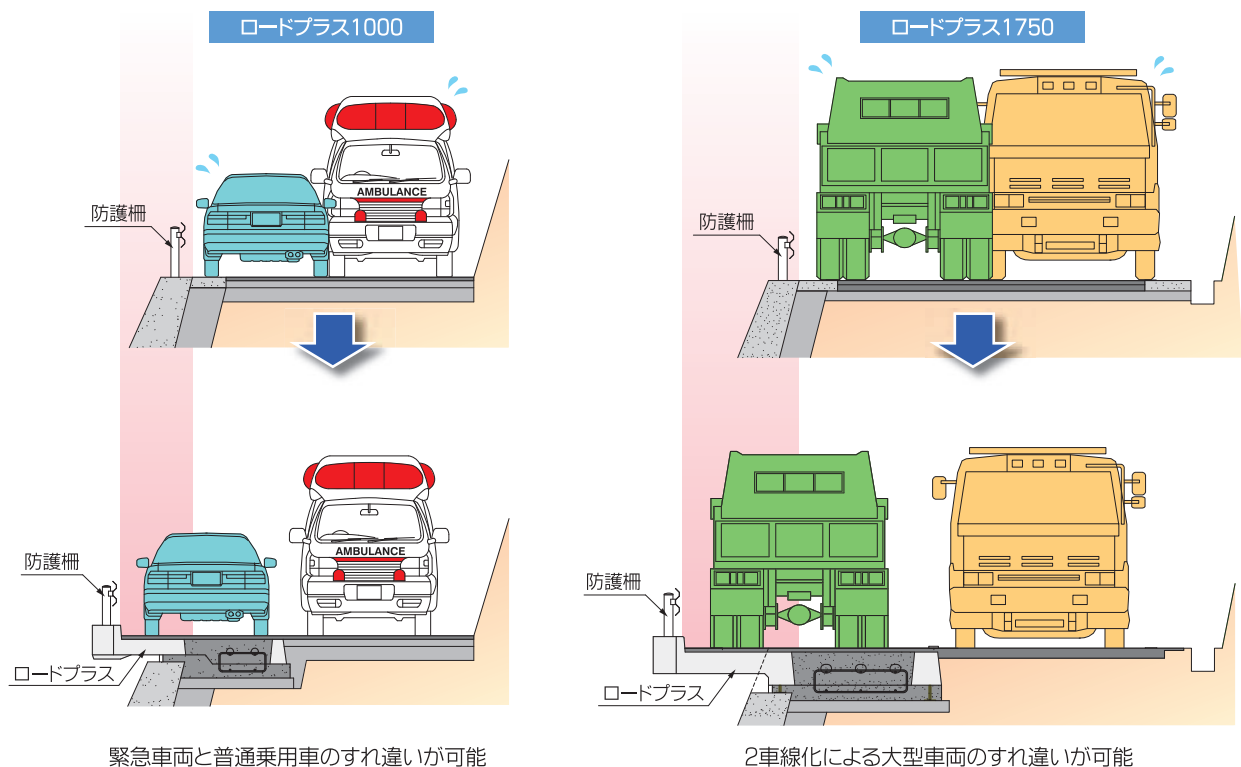
地域特性に応じて、大型車両仕様または中型車両仕様のそれぞれに対応できます。

※張出部の自重及び上乗荷重が増加するため、必要に応じてロードプラスの影響荷重を考慮した下部工(既設擁壁及び杭など)の検討を行います。

■工法概要図



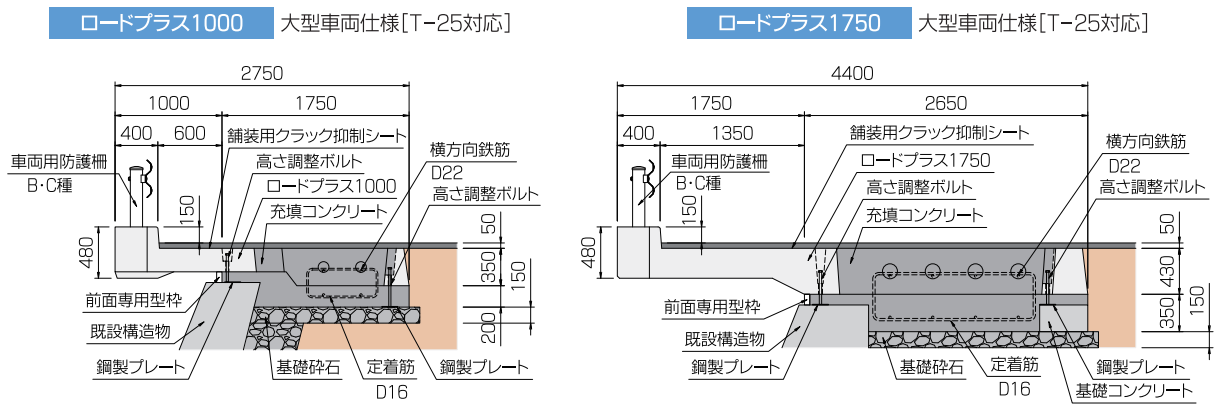
■拡幅イメージ図



緊急車両と普通乗用車のすれ違いが可能

2車線化による大型車両のすれ違いが可能

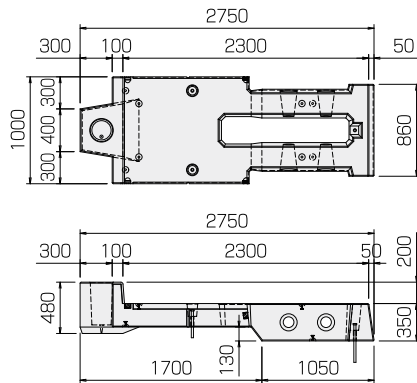
■参考断面図



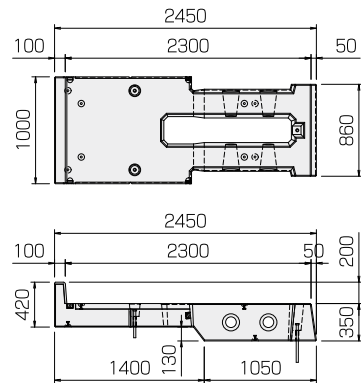
■製品形状

ロードプラス1000

Pタイプ 参考重量1355kg

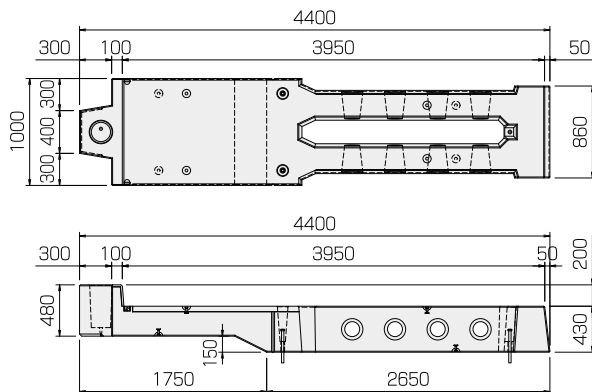


Fタイプ 参考重量1210kg

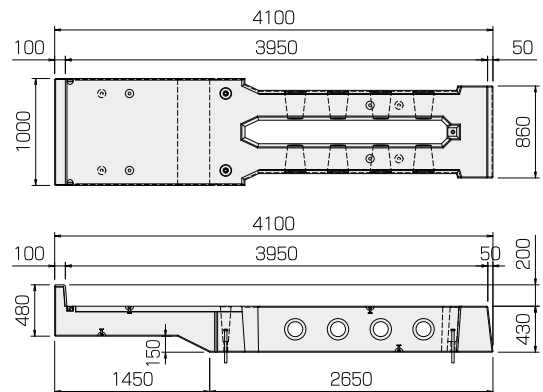


ロードプラス1750

Pタイプ 参考重量2900kg

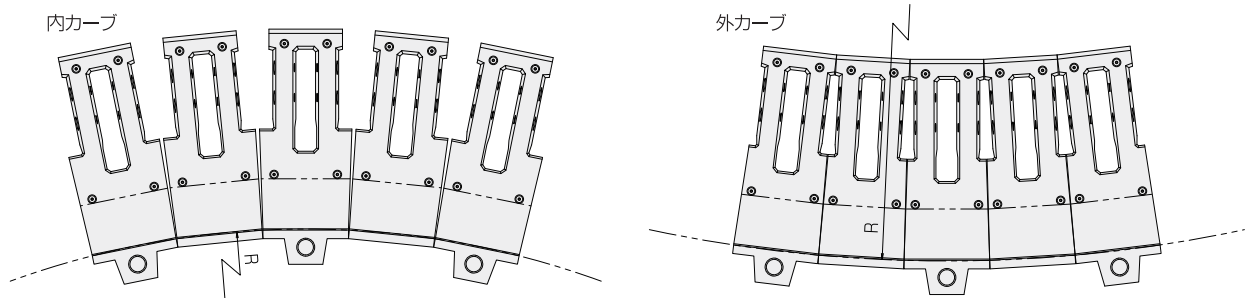


Fタイプ 参考重量2770kg



■カーブ施工

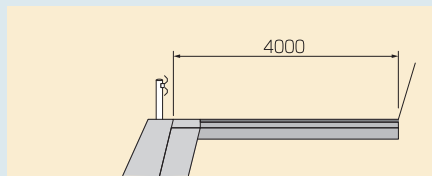
※カーブ用製品の使用により、次の範囲のカーブに対応することができます。



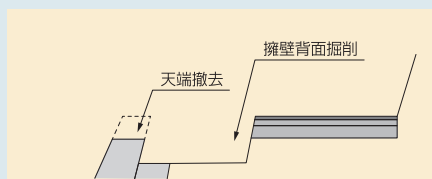
ロードプラス1000	内カーブ	10.1m以上	外カーブ	16.7m以上
ロードプラス1750	内カーブ	14.6m以上	外カーブ	28.5m以上

■施工手順

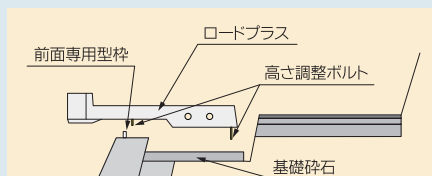
1 既設道路(施工前)



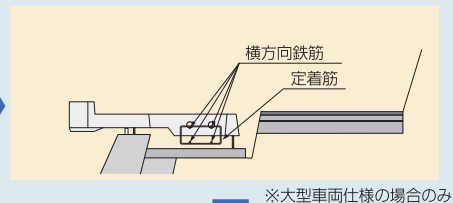
2 擁壁天端撤去



3 基礎材敷設、全面専用型枠設置

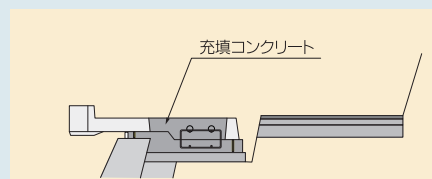


4 定着筋設置、*横方向鉄筋挿入

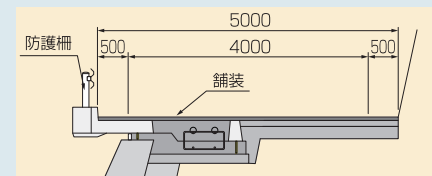


※大型車両仕様の場合のみ

5 充填コンクリート打設



6 埋戻し、舗装、防護柵設置、完成



※1.最低使用本数は5本(Pタイプ3本、Fタイプ2本)を基本とします。

※2.使用可能な縦断勾配は10%以下とします。(スレ止め対策を行う場合は15%を上限とします。)

■施工事例

